



環境汚染の発生しない適切な処理施設の整備を目的とし、石川県と石川県北部地域の24市町村が一体となって、今後の広域廃棄物処理のモデルとなる「RDF化計画」を推進するものです。

「RDF専焼炉」建設工事は、この計画の基幹的施設である「RDF専焼炉」の整備を行うもので、RDFの適正な焼却はもちろん、焼却時に発生する熱エネルギーの発電への利用、スラグの道路路盤材等への活用や廃棄物の有用なリサイクルが可能となり、資源循環型社会の実現や環境保全に大きく寄与するものです。

全体計画としては、敷地が二段にセパレートされており、低い方に工場棟を配置し、周辺からの視覚的高さの低減及び外壁にグラデーション的配色の採用によりボリュームによる圧迫感の低減を図っています。高い方の敷地には管理棟・スラグ貯蔵棟を配置して全体的に統一感のある計画としています。また、曲面屋根の採用により清掃工場の堅いイメージを払拭し周辺環境との調和を図っています。

内外装材として、通路の舗床用インターロッキングブロック、外装タイル、床タイル、断熱材、カーテン等、リサイクル製品の使用や省エネルギー対応として工場内で発生する余熱を利用し、施設内の給湯や空調設備に利用し、環境に配慮した施設としています。

## DATA

羽咋郡志賀町矢駄地内	
専焼炉	平成15年3月完成予定
	SRC造：4F 延 5,038㎡
管理棟	平成14年11月完成予定
	RC造：2F 延 1,913㎡
スラグ貯蔵棟	平成14年11月完成予定
	RC造：1F 延 1,245㎡

